

四日市市立水沢小学校

学校だより

令和8年4月16日 第3号



「水沢を学ぶ・水沢で学ぶ・水沢と学ぶ」～すいざわ学が始まりました！～

学校だより(ふれあい)第1号でお知らせしましたように、1、2年生生活科、3～6年生総合的な学習の時間を「すいざわ学」の時間として、水沢のことを広く深く学ぶ時間としています。早速、それぞれの学年で取り組みが始まってきました。

一粒の種に、一年の想いを込めて～5年生すいざわ学「種まき」～



今年もいよいよ、米作りが本格的に始動しました！本日は、これからの苗の成長を左右する大切な「種まき」の日です。今年も地域学習支援ボランティアの方にお世話になり、種まきの仕方を学んだり、知識を教えていただいたりしました。ビニールポットの育苗箱に丁寧に土を敷き、黄金色の種籾(たねもみ)を均等にまいていきます。一粒一粒に「元気に育ってほしい」という願いを込めました。種をまいたポットは、教室の窓側にある観察棚に置き、ゴールデンウィークごろまで、日当たりの良いところで苗まで育てます。米から芽や根が出る様子を観察しながら、田植えまでの間、世話をしていきます。

水沢の地域について学ぶ「すいざわ学」の取り組みとして、スタートを切りました。「水沢を学ぶ」「水沢で学ぶ」「水沢と学ぶ」を合言葉に、深く地域のことを学んでほしいと思います。



おいしいかぶせ茶になりますように～3年生すいざわ学「クレモナかぶせ体験」～



3年生がJAの方々にお世話になり、学校茶園の茶畑に黒い布「クレモナ」をかぶせる体験をさせていただきました。はじめに、職員の方から「日光をさえぎること、甘みのあるおいしいお茶になる」ことやクレモナ(遮光ネット)のかぶせ方、ポールを使ったネットの固定の仕方も教えていただきました。子どもたちは、普段から茶畑を見ながら生活していますが、実際にネットをかぶせる体験は初めての子も多く、楽しみながら体験させていただきました。やっていくうちにどんどんスムーズになり、茶

業に携わる方々の工夫や苦勞を知るきっかけとなったようです。おいしいお茶になるための大切な2週間。3年生の皆さんのかぶせたクレモナがおいしさを引き出してくれることでしょう。



チームで子どもたちの指導・支援を～チーム担任制で取り組んでいます～



多様な見方や考え方などを知ることやコミュニケーションの力を伸ばすことなど、教育活動の中で効果的に力をつけることができるようチーム担任制での取り組みを進めています。5、6年生は、「高学年として、どんな1年にしたいか」「どんな行動をするとよいか」という課題で、高学年部集会を行っていました。5、6年生が一緒になった小グループで話し合った後、「失敗を笑わないこと」「人の意見は最後まで聴くこと」など、人として大事なことを確認し、集会を終えました。これからの学校生活

の中で、高学年として、学校のリーダーとして、活躍してほしいと思います。

また、3、4年生は、体育の授業を合同で行いました。ペアや3人組で、追いかけて追いかけられたりする運動を楽しみました。スタートの合図がかかる前には、だんだん腰の位置が低くなり、スタートダッシュができるように自然と姿勢が低くなる様子も見られ、体の使い方も上手になってきました。学年初めの時期、なかまどコミュニケーションをとったり、体を動かすことを楽しんだりしながら、心身ともに成長していくことを願っています。



発見！水沢っ子の素敵な姿！！



登校後の1年生の教室です。6年生が朝の準備などを自然と教える様子がありました。入学して間もない1年生。小学校生活に少しでも早く慣れることができるよう、6年生の指導は欠かせません。1年生がわかるように優しく教える姿は、さすが6年生です。「高学年としてどのように行動すればいいのか」言葉だけでなく、行動にしっかりと表すことができた素敵な姿でした。

ご協力をお願いします～登校時の送迎から

お子様の登下校につきまして、朝の登校時、とくに雨天時には、お子様の送迎を行っていただく方も多くおみえになります。子どもたちが学校敷地内に入るまでの安全確保という観点で、次の点につきまして、ご確認いただければと思います。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

○乗降は、「水沢小学校来校者用駐車場」「水沢地区市民センター駐車場」にてお願いします。

○学校敷地内への動線は、2か所です。

①(お子様のみの場合) 来校者用駐車場南側の歩行者用出入口から正門方面へ

②(保護者同伴の場合) 水沢こども園西 横断歩道を渡り、校舎東側入口へ

○来校者用駐車場に入る際は、水沢こども園を通過後、必ず左ウインカーを出してください。

※校舎東側入口付近に停車しての乗降は、ご遠慮ください。

(下校時のお迎えにつきましては、水沢地区市民センター駐車場(こども園側)もご利用ください。)



(文責 岡本 浩樹)